

【たちどまってかんがてみよう「子どものアウトメディア講座」アンケートまとめ】

- ・日頃からおうちでもメディアのメリット・デメリットなどは話していたけれど、第3者の先生のお話だからか、子どもがとても集中して聞いていました！！いろいろな観点からお話が聞けて、私自身驚くことばかりで、とても理解も深まりました。ずっとつきあっていくメディアだからこそ、上手に使っていきたいです。ありがとうございました。（30代女性）
- ・とても勉強になりました。ゲーム・スマホとのつきあい方は大人の私も考える必要があると思いました。思っていた以上に子どもの脳に影響があることを知り、驚きました。家に帰って、他の子たちとも話し合いたいと思いました。（40代女性）
- ・メディアに接することによる様々な事例やデータを示して下さい、あらためて気を付けるべき点がみえてきました。学校でもタブレットによる学習や、プログラミング教育など使う場面も増えてきていますので、上手な使い方を子どもと共に模索していきたいと思えます。
- ・スマホやゲームの怖さがとてもわかりました。それと同時に我が子たちにどのようにスマホやゲームとつきあっていくのか対策をねる大切さもあらためて感じました。それらを決めることにまず親子で電子媒体を横において対話をする必要がありそうです。何度も何度も思考錯誤をしながら。そのようにして大人になった子たちが親になったとき、その子どもとどのように向き合ってルールを決めて電子媒体をつかひこなしていくのか……。未来につながっていくことだと思いました。
- ・小2と年少の子どもがいます。犯罪やゲームネット依存が怖くて、ゲーム機やスマホは買っていません。You tube もほとんど見せていません。小2の子の周りではゲームを持っていない子どものほうが少ないようです。学校で、ゲームや You tube の話題も多く出るようで、自分がその話題、遊びに入れず悲しい思いをすることがあるようです。「そろそろゲームを買ってあげないといけなかな」と思っていたところです。今日のお話を聞き、ますますゲームを与えることが怖くなりましたが、ルールを決め、適切に使える環境を整えたいと強く思いました。ただ、年少の子にゲームを与えるのは早すぎるし、ルールを守れるとは思えないので心配です。（40代女性）
- ・ネットやゲーム、スマホと離れた生活はできませんが、上手につきあう方法を身に付けてほしいと思い参加しました。子どもには難しいところもあったかもしれませんが、こういった機会に子ども自身にも考えてほしいと思いました。大人の都合で、子どもの大事なものを失わせているようで、子どもも生きていくのが大変な世の中と思いますが、何とかうまく成長してほしいと思います。大人にとっても耳が痛いところがありますが、保護者の意識も大事だと思いました。（40代女性）
- ・子どもと一緒に参加できたことが何よりよかったです。子どもには難しい話もあったかもしれませんが、なぜゲームは怖いのか、何か伝わったものがあると思います。（先生の口調がやさしくて子どもに伝わりやすく感じました）情報がたくさんあったので、きちんと読めないまま画面がどんどん変わってしまったのが惜しかったです。一つひとつのことを深く掘り下げてしりたいので、紹介いただいた本を読みたいです。
- ・長くてつかれました。ネットの存在を否定ばかりするわけにもいかず、うまくつきあう方法は年々難しくなります。タブレットの使い方も悩みどころです。家に子どもだけの時間が増え、留守番中はテレビをみるのが習慣になってしまって、視聴時間が増えてしまいました。なんとか抜け出したい……。もがき中です。（40代女性）
- ・日頃子どもとスクリーンタイムとその影響について会話をしますが、中毒性ゆえになかなか理解ができない（頭では理解していても、楽しいのでやめられない）ようでなかなか折り合いがつかえません。今日聞いたお話をもとにもう一度家でしっかり危険性について話をしたうえで、納得した約束を決めたいと思います。貴重なお話ありがとうございました。
- ・子どもたちが人体実験中、という響きは衝動的でした。成長期に与える影響についても恐ろしいですし、青少年期の経験や体験がゲーム時間に置き換わるなんて本当にバカバカしいなあと思います。「メディアが時間（未来）を奪う」一時間は有限。青少年期の時間はとくに。一日一日を大切に。中学生の長男に聞かせたかったです。タブレットを何とかしてもらいたいです。質問の時間とれたらよかったです。